



## 研修報告 災害時に活かす福祉の専門性と連携の重要性

～福祉避難所立ち上げ訓練を開催しました～

当センターでは、災害時に円滑な福祉避難所運営ができるよう、年間4回の訓練を計画しております。その第1回目として、5月26日に「でんでん館」にて福祉避難所立ち上げ訓練を実施いたしました。今回は、社会福祉法人リデルライトホーム事務長である木村准治氏を講師にお迎えし、「災害時に活かす福祉の専門性と連携の重要性」をテーマにご講演いただきました。

研修では、熊本地震や過去の豪雨災害における課題の振り返り、そして熊本県DWAT（災害派遣福祉チーム）立ち上げの経緯について詳しくお話しいただきました。また、実際に福祉避難所から在宅復帰を支援した具体的な事例を通じて、災害における専門職同士の資源連携の重要性を深く学びました。

## 体験レポート：熊本市福祉避難所立ち上げシミュレーションゲーム「SgSE（スグゼ）」

研修の後半では、福祉避難所立ち上げシミュレーションゲーム「SgSE（スグゼ）」を体験しました。「SgSE（スグゼ）」は、高齢・障がい・福祉施設を対象としたツールです。各事業所が連携しながら、自事業所の事業継続や福祉避難所を開設するまでの流れを机上で学ぶことができます。本格的な訓練と異なり、気軽に実施できるのがこのツールの魅力であり、年に1回継続して取り組むことで、災害時に対応できる意識の維持・向上に繋がります。今回の研修では、参加者の皆様と活発に意見を交わしながらゲームを進めることで、自然と防災への意識が高まりました。現在、全国各地でこの「SgSE」を活用した研修会が広がっています。災害はいつ起こるかわかりません。「福祉の専門性」を災害時にいかに発揮し、避難される方の暮らしと安全を守り抜くか。今回の訓練で得た学びを活かし、今後も地域の皆さまと連携を強化してまいります。次回の訓練予定や詳細については、追ってご案内いたします。

## 「SgSE（スグゼ）」で学べること

**備蓄の適正量を知る：**事業を継続するために、どのような物資がどれくらい必要なのかを具体的に把握する。

**福祉避難所の役割を学ぶ：**福祉避難所とはどのような施設か、その機能と使命を再確認する。

**他事業所との連携・協働：**災害という困難な状況下で、他法人や地域とどう協力体制を築くか。

**情報発信・収集：**ビジネスチャット等のツールを活用し、災害時の迅速な情報の共有・整理を行う方法。



▲SgSEホームページ <https://joint-ripple.com/sgse/>  
お手軽に災害訓練ができるので、1年に何度でも実施することで、災害時に対応できる意識を継続します。

## 5月の活動内容 Main activity

- 9日 宮崎県障がい者相談支援事業連絡協議会15周年記念式典
- 11日 成年後見制度利用促進協議会
- 12日 権利擁護研修会企画会議
- 12/14/22日 熊本県障がい者相談支援事業連絡協議会 研修企画会議
- 12日 慶信会 評議委員会
- 12日 東康会 就労支援アドバイザー
- 13日 委託相談支援事業協議会
- 14日 八代地域こころの健康希望の会 家族教室 理事会（運営補助）
- 15日 こころの健康アドバイザー協議会
- 19日 居住支援協議会
- 20日 氷川相談所
- 21日 八代圏域障がい者支援協議会 相談支援部会 運営会議
- 26日 福祉避難所立ち上げ訓練研修会
- 29日 熊本県障がい者相談支援事業連絡協議会 総会・研修会
- 29日 八代支援学校運動会

中高生の居場所づくり

あクロススペース

開所日はこちらから確認できます▶

